

岡山県芳井地域のペルム系芳井層群にみられるパイルナップ構造

Pile-nappe structure of the Permian Yoshii Group in the Yoshii Area, Okayama Prefecture, Southwest Japan

伊藤 剛 [1]; 松岡 篤 [2]

Tsuyoshi Ito[1]; Atsushi Matsuoka[2]

[1] 新潟大・理・地質; [2] 新潟大・理・地質科学

[1] Geology, Niigata Univ.; [2] Dept.Geology, Niigata Univ

ペルム系付加体からなる秋吉テレーンは西南日本内帯を占める。秋吉帯の構成要素である芳井層群は岡山県西部芳井地域に分布している。芳井層群は主に遠洋性のチャートと陸源性砕屑岩からなり、チャート-砕屑岩シーケンスを構成する。芳井層群は、下部層、中部層、上部層に区分される。下部層はチャートから、中部層は珪質泥岩、凝灰岩から、上部層は砂岩、泥岩からなる。芳井地域はチャート-砕屑岩シーケンスからなる6つのユニットが認められ、パイルナップ構造を呈している。放散虫の生層序学的研究より、中部層がペルム紀中世中期に対比されることが明らかになった。